

エグゼクティブセミナー in 函館 ～ DX時代と地域の未来 ～ 終了報告

http://www.saj.or.jp/NEWS/committee/kouryu/220701_report.html

令和4年7月1日(金)～2日(土)の2日間、SAJ会員の経営者・管理者層を中心とした「エグゼクティブセミナー in 函館 ～ DX時代と地域の未来～」が、北海道函館市の函館工業高等専門学校で開催されました。

SAJからの参加および現地参加を含め総勢35社・団体/50名が参加し、大変盛況な中、無事終了しました。

●参加企業

<SAJ側 32社・団体/42名、企業名五十音順>

アカマツ株式会社、センターフィールド株式会社、アップデート株式会社、株式会社大和コンピューター、アマゾンウェブサービス合同会社、トレンドマイクロ株式会社、anbx株式会社、日本ナレッジ株式会社、イナゾウ株式会社、株式会社ネクストスケープ、株式会社ウチダ人材開発センタ、株式会社バース情報科学研究所、株式会社エスペシャリイ、株式会社Harness LLP、株式会社オービックビジネスコンサルタント、ハynesソリューションズ株式会社、株式会社キャリアブリッジ、株式会社ピーエスシー、株式会社グリーンキャット、ピー・シー・エー株式会社、株式会社コスモ・コンピューティングシステム、株式会社フォーラムエイト、コナミグループ株式会社、株式会社BluePort、株式会社サイエンスアーツ、ラクラス株式会社、さくらインターネット株式会社、株式会社ラネクシー、サツドラホールディングス株式会社、株式会社リボルブ・シス、税理士齋藤康之事務所、一般社団法人ソフトウェア協会

<北海道函館市側 3団体/8名>

函館市 副市長 谷口 諭様、経済部長 小林 利行様、経済部次長 田村 隆弘様、企業立地担当課長 竹崎 太人様、企業立地担当主査 田村 亮様、企業立地担当主任主事 中川 優南様
公立はこだて未来大学 社会連携センター参事 平野 次彦様
函館工業高等専門学校 副校長 物質環境工学科教授 小林 淳哉様

<開催概要>

- 会 期 2022年7月1日(金)～7月2日(土)
- 開 催 地 北海道函館市 他

2022年7月1日(金) 行程	
12:00～13:05	函館工業高等専門学校着 到着後、大講堂にて昼食 昼食後、休憩、名刺交換
13:05～16:40	第1部 函館市様 取組説明 ご登壇：小林 利行 様 (函館市経済部 部長) はこだて未来大学様 取組説明 ご登壇：平野 次彦 様 (公立はこだて未来大学 社会連携センター参事) 函館高専様 取組説明 ご登壇：小林 淳哉 様 (函館工業高等専門学校 副校長 物質環境工学科教授)
	第2部 パネルディスカッション (SAJ 紹介・学生との意見交換会) モデレータ：田中 邦裕 SAJ 会長 パネリスト：鈴木 正之 SAJ 筆頭副会長 村瀬 正典 SAJ 副会長 武井 千雅子 SAJ 理事 富山 浩樹 SAJ 理事
	函館高専構内見学

16:40～19:00	<バスで移動> ラビスタ函館ベイ着後、チェックイン後、休憩
19:00～20:30	<p>●懇親会 函館ビヤホール</p> <p>〒040-0053 北海道函館市末広町14-12 函館ヒストリープラザ内</p> <p>次第：ご来賓紹介</p> <p>ご挨拶：函館市副市長 谷口 諭 様</p> <p>乾杯ご発声：田中 邦裕 SAJ 会長</p> <p>中 締 め：杉本 淳一 SAJ 副会長</p> <p>司 会 進 行：村瀬 正典 交流委員会委員長</p>
20:30	終了、解散

●7月1日(金)

<函館工業高等専門学校 訪問：セミナーの開催>

会場：函館工業高等専門学校（大講堂）

住所：〒042-0953 北海道函館市戸倉町14-1

函館工業高等専門学校は、高等専門学校第一期校としての設置以来、40年を経て北海道南部（渡島檜山地方）における唯一の工学系高等教育機関としての地位を確立し、それに加えて函館市の主導する「函館水産・海洋都市構想」における学術研究部門を担っています。本科（5年制・準学士課程）3学科と専攻科（2年制・学士課程）2専攻を擁し、1000人を越える学生が在籍しています。在籍する学生は、道南地方を始め、青森などの北東北や石狩地方など、様々な場所から集まっています。

今回の視察では、函館工業高等専門学校の大講堂をお借りして開催されました。

到着後、参加者は地元の食材を使用したお弁当で昼食をとり、参加者同士の名刺交換などを行い、セミナー開始時間まで交流を図っていました。

セミナー第1部では、「函館市の取組」、「公立はこだて未来大学の取組」、そして「函館工業高等専門学校の取組」をそれぞれ紹介いただきました。

セミナー第2部からは、函館工業高等専門学校の学生約70名も会場に入り、田中邦裕会長がモデレータとなって、パネルディスカッションが行われ、その後、生産システム工学科情報コースを中心とした学生さんとの意見交換会も行われました。

○函館市の取組について

函館市経済部部長 小林 利行 様より、「まちの紹介」、「立地環境・支援体制」、「函館でワーケーションを」の3つのテーマについて、函館市の魅力などを交えた函館市の取組をご紹介いただきました。特に、トピックスとしては、これまで何度も「日本で最も魅力的な都市」に選ばれ、美しい夜景や新鮮な海の幸、伝統的な街並みで観光客に人気があること、函館市内では、54年ぶりに酒蔵「五稜乃蔵」が誕生したこと、クルーズ船用の「旅客ターミナル」が間もなく完成するなど紹介され、最後に函館をぜひ満喫してほしいとの言葉で締めくくられました。



函館高専の前で参加者全員集合！



函館高専の校舎



函館市 経済部部長 小林 利行 様

○公立はこだて未来大学の概要について

次に、公立はこだて未来大学 社会連携センター参事 平野 次彦 様より、公立はこだて未来大学の概要についてご紹介いただきました。大学の環境は、オープンスペース、オープンマインドな風土となっており、5階分を吹き抜けにした全面ガラス張りの開放的な「未来を創造する学びの空間」となっていること、教育体制では、3年次には実社会に根差した課題から実践力を醸成するというプロジェクト学習を行っていることなどを紹介いただきました。今回は、新型コロナ禍の影響で、同大学には訪問がかなわず残念でしたが、平野参事のご紹介で一層、次の機会があればぜひ訪問させていただきたいと思いました。



公立はこだて未来大学
社会連携センター参事 平野 次彦 様



平野様に質問する田中会長と参加者の皆さん

○函館工業高等専門学校を取組について

続いて、函館工業高等専門学校 副校長 物質環境工学科教授 小林 淳哉 様より、函館工業高等専門学校の概要や企業とのつながりなどについてご紹介いただきました。

1962年4月に高等専門学校（高専）の第一期校として開校されて、2022年に創設60周年を迎え、開校以来、産業の発展を担う優秀な実践的技術者を多く送り出し、官公庁・大手優良企業・地場企業など、社会で高く評価されている函館高専では、学科構成は、1年生では学科に所属しないで、各学科の基礎知識と一般科目を全員が学習し、自分の適性を認識して、2年生で生産システム工学科、物質環境工学科、社会基盤工学科にそれぞれ配属が決まるとのこと。また、学生は、企業のことを知ろうとする貧欲さがないたため企業との接点を増やしたいと思っていたところに、今回のSAJ訪問は、素晴らしい機会となったとの感想もいただきました。



函館工業高等専門学校 副校長
物質環境工学科教授 小林 淳哉 様

○学生との交流

続いて、「高専生が大活躍！『ソフトウェア業界』のススメ」と題したパネルディスカッションと学生（約70名）との意見交換会を行いました。はじめに、モデレータの田中邦裕会長より、SAJの概要をご紹介するとともに、田中会長自身が高専出身で高専時代にさくらインターネットを起業した経緯やソフトウェア業界の動向などを学生の皆さんに紹介しました。



モデレータ SAJ会長 田中 邦裕



田中会長の話を熱心に聞き入る函館高専の学生の皆さんと参加企業の皆さん

続いて、パネリストの鈴木正之筆頭副会長、村瀬正典副会長、武井千雅子理事、富山浩樹理事より、それぞれ自己紹介が行われ、起業した理由や社長になった経緯についてなどもあわせてご紹介いただきました。



左から	モデレータ	田中 邦裕 会長
	パネリスト	鈴木 正之 筆頭副会長
		村瀬 正典 副会長
		武井 千雅子 理事
		富山 浩樹 理事



自己紹介するパネラーの皆様

そして、意見交換では、まずは、事前に学生の皆さんから寄せられた質問に対して、パネリストから回答され、続いて、その場で学生の皆さんからの質問を受けたり、参加企業から学生の皆さんへの質問をしたりと、予定時間をオーバーするほど活発な意見交換が行われ、学生の皆様とSAJ双方にとって大変有益な時間となりました。



質問する学生と回答する参加者（杉本副会長、和田名誉顧問）

○函館高専の構内視察

続いて、白熱した意見交換会の後は、3グループに分かれて構内を視察しました。



<懇親会>

会場：函館ビヤホール

〒040-0053 北海道函館市末広町1-4-12 函館ヒストリープラザ内会場

懇親会は、函館市末広町に位置し、函館湾に面したウォーターフロントに立ち並ぶショッピングモールやビアホール・レストランが入居する函館の観光名所「金森赤レンガ倉庫」にある「商業施設「BAYはこだて」の函館ビヤホールで、地元関係者の方々を交えて行われました。

はじめに、今回の視察に多大なるご協力をいただいた函館市の皆様をご紹介し、その代表として谷口 諭 函館市副市長よりご挨拶を頂き、田中 邦裕 SAJ会長による開会挨拶と乾杯のご発声で宴が始まりました。中締めは、杉本 淳一 副会長による3本締めが行われました。懇親会は総勢50名の皆様にご参加いただき、地元の食材や地ビールなどを楽しみながら、参加者同志の交流も積極的に行われ、大盛況のうちに終了しました。



村瀬 正典 交流委員会委員長



谷口 諭 副市長によるご挨拶



田中 邦裕 SAJ 会長挨拶と乾杯のご発声



杉本 淳一 副会長による中締め



懇親会の様子

●7月2日(土) オプション

翌7月2日は、「県内視察」、「親睦コンペ」の2つのコースに分かれて、オプションが開催されました。

オプション1：市内視察コース

市内視察コースには6社・団体8名が参加し、函館高専連携醸造ラボ「五稜乃蔵」、トラピスチヌ修道院、明治館・金森赤レンガ倉庫群、元町公園・旧函館区公会堂・旧相馬邸・旧イギリス領事館、弥生小学校・中華会館、外国人墓地、函館市臨海研究所・太刀川家住居、新島襄海外渡航の地碑・緑の島・北海道第一歩の地碑、函館山山頂視察、五稜郭タワー、箱館奉行所、などを視察しました。



函館高専連携醸造ラボ「五稜乃蔵」



トラピスチヌ修道院



五島軒 レストラン雪河亭にて昼食



少し曇りがちで残念な天気だった「函館山」にて



旧イギリス領事館、五稜郭タワー、箱館奉行所、など

オプション2：親睦コンペコース

場所 函館ベイコーストCC OUT・INコース
〒049-0133 北海道北斗市 柳沢323-10

親睦コンペコースには28社・団体32名が参加し、少し曇りがちの天候ではありましたが、参加者の皆さまは、日頃の腕前を発揮されていました。



スタート前の集合写真

プレー終了後には、交流委員会メンバーの進行により、懇親会とあわせた成績発表と表彰式が行われました。



進行を担当する交流委員会
村瀬委員長と小川副委員長



鈴木筆頭副会長と2連覇優勝の星名様



小川副委員長と
惜しくも準優勝の新井様



鈴木筆頭副会長とチーム優勝組



チーム準優勝組



和田名誉顧問による中締め

コンペ表彰式終了後には、前日の夜、悪天候のため見学できなかった函館山と五稜郭の視察も行い、今回のエグゼクティブセミナー／親睦コンペコースは無事に終了し、函館空港に向かいました。



最後に、「エグゼクティブセミナー in 函館」にご参加いただきました皆様には、多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。お陰様で2日間、全行程を無事に終了できたことをあらためて感謝申し上げます。（事務局：井上・澤口）

以上